

募集

三豊市給付型奨学金対象者を募集します

▶申し込み・問い合わせ 教育総務課 ☎73-3130



- 対象** 令和5年4月に短期大学や大学（大学院を除く）、専修学校（専門課程に限る）、高等専門学校（四年生に限る）に初めて入学する予定の人
- 要件**
- ・市内に住所を有する人（進学のため、他の市町村に住所を移す人を含む）
 - ・修学意欲があり、学校長が推薦する人
 - ・経済的理由で修学が困難であると認められる人
 - ・市税を完納している世帯
- 選考** 奨学生選考会議で総合的に判断し、奨学生を決定
- 支給**
- ・支給額 1人月額5万円
 - ・支給開始時期 令和5年4月から
 - ・支給方法 口座振込（年4回）
- 受付期間** 2月1日（水）～3月20日（月）
- 申請書類**
- ①奨学金支給申請書
 - ②奨学生推薦調書
 - ③入学許可書の写し（合格通知書の写しなど）
 - ④在学する学校の成績得点などが確認できる書類など
 - ⑤その他必要と認める書類（所得および家庭状況の分かるものなど）
- 提出場所** 教育総務課
（郵送可…当日消印有効）
- ※申請書は、教育総務課にあります。市ホームページからもダウンロードできます。

くらし

出産・子育て応援事業を開始しました

▶問い合わせ 子育て世代包括支援センター「なないろ」(子育て支援課内) ☎73-3016



全ての妊産婦、子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、「出産・子育て応援事業」を1月から開始しました。妊娠時から一貫して身近で相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型支援を充実させ、経済的支援を組み合わせる継続的に実施していきます。

申請により、妊娠届出時には「出産応援ギフト（妊婦一人当たり5万円）」、赤ちゃん訪問時には「子育て応援ギフト（子ども一人当たり5万円）」を支給します。出産育児用品の購入、子育て支援サービスなどにご利用ください。

対象

- ・市内に住所があり、令和4年4月以降に妊娠届出をした人
- ・市内に住所があり、令和4年4月以降に出生届出をした子どもを養育する人

※転入した人は前住所地で支給されない場合があります。

募集

三豊市奨学金貸付希望者を募集します

▶申し込み・問い合わせ 教育総務課 ☎73-3130

- 対象** 令和5年度に高等学校、高等専門学校、専修学校（専門課程に限る）、短期大学および大学（大学院を除く）に在学する人
- 要件**
- ・市内に住所を有する人（進学のため、他の市町村に住所を移す人を含む）
 - ・修学意欲があり、学校長が推薦する人
 - ・経済的理由により修学が困難であると認められる人（年間収入の合計が4人世帯でおおむね400万円未満程度）
 - ・市税を完納している世帯
- 選考** 奨学生選考会議で総合的に判断し、奨学生を決定
- 貸付額**
- 【高等学校など】 月額1万円以内
 - 【高等専門学校、専修学校および短期大学】 月額2万円以内
 - 【大学】 月額2万5千円以内
- 貸付期間および利息**
- 【貸付期間】 正規の修学期間
 - 【利息】 無利子
- 返還**
- 正規の修学期間が満ちた日の翌年4月から、10年以内に月賦、半年賦または年賦払いにより返還
- 申し込み期限** 3月中旬まで
- ※年度途中において貸し付けの申請を受けようとする場合は、この限りではありません。
- ※貸付要件は世帯により異なります。詳しくは、教育総務課までお問い合わせください。

くらし

学校体育施設の年間利用には申請書の提出が必要です

▶申し込み・問い合わせ スポーツ振興課 ☎73-3138

- 令和5年度に、市内の学校体育施設を定期的に利用したい団体は、「三豊市立学校体育施設年間利用団体登録申請書」を提出してください。
- 対象施設**
- 市内の小・中学校の運動場、体育館など
- ※申請が必要な施設は、市ホームページに掲載しています。
- 利用可能時間**
- 平日 午後6時～10時
休日 午前9時～午後10時
（12月29日～1月3日は除く）
- ※学校が利用する場合は、利用できません。
- 利用資格**
- 市内に在住・在学または在勤の人で構成された原則10人以上の団体。スポーツ傷害保険に加入していることが条件です。
- ※満18歳未満の人で構成されている場合は、成人の引率が必要です。
- 提出先** 提出期限 2月17日（金）
- 利用を希望する小・中学校
- 同一時間帯で複数の利用団体登録申請書が提出された場合は、学校ごとに利用調整会を開催する場合があります。

- 事業の概要**
- 妊娠期**
- 妊娠届出時（妊娠8週～10週前後）
- 面談、アンケート、出産応援ギフト支給申請を行います。
- セルフプランを確認し、出産までの見通しを一緒に立てます。
- 妊娠8カ月頃（令和5年4月以降に妊娠届出をする人）
- 面談、アンケートを行います。
- セルフプランを一緒に確認し、産前・産後に必要な手続きや支援サービスを検討・提案するなど産後の見通しを立てます。夫の育休取得の推奨、母親学級や両親学級を紹介します。
- 赤ちゃん訪問時（出生後～生後2カ月頃）**
- 面談、アンケート、子育て応援ギフト支給申請を行います。
- セルフプランを一緒に確認し、産後に利用できる地域の子育て支援サービスや健診、予防接種などの母子保健事業の紹介をします。
- 子育て期**
- 随時の相談、乳幼児健診などを行います。保育施設などの入所手続き、地域の身近な相談機関や子育て支援サービスなどの紹介、相談を継続して行います。

- 令和4年4月から事業を開始するまでの間に、出産および妊娠届出をした人には出産応援ギフト（5万円）と子育て応援ギフト（5万円）をまとめて支給します。
- ①令和4年12月31日までに妊娠届出をし、出産していない人
 - ②令和4年4月1日から12月31日までに出産し、赤ちゃん訪問が終わっている人
- ※①と②の人には、事業についての書類を1月下旬から順次送付します。
- ③令和4年4月1日から12月31日までに出産し、赤ちゃん訪問が終わっていない人
- ※赤ちゃん訪問時に保健師・助産師が説明します。
- 申請受け付け後、支給決定通知などにより支給の時期についてご案内します。事業の詳細については、市ホームページで確認いただくか、子育て世代包括支援センター「なないろ」までお問い合わせください。



▲事業の詳細はこちら